

## 入間市自殺対策計画（原案）に対して寄せられた意見等の概要と市の考え方

入間市では、平成30年11月16日（金）から平成30年12月17日（月）までの期間で「入間市自殺対策計画（原案）」に関して「パブリックコメント」を実施しました。その結果、2人の方から7件のご意見等が寄せられました。寄せられた意見等の概要と、それに対する市の考え方は、次の通りです。

No.	箇所	意見等の概要	市の考え方（対応）
1	7ページ 表1	市として自殺対策に取り組んでいることはいいことだと思う。 また、表1より自殺者が減少しているのが分かり、取り組みの成果が出ていると思われる。 しかし、市に相談窓口があることを知らなかったため、相談窓口がもっと多くの人に浸透する方法を考えてほしい。	市公式ホームページやさまざまなイベントの機会を活用して相談窓口の周知に努めていきたいと思えます。
2	26ページ 【基本施策1】 1 生きる支援についての知識の普及・啓発	認知症サポーター養成講座や救急法基礎講習については、受講者が増え市民の理解が深まっていると感じる。これらの講座と同様に、ゲートキーパー養成講座の開催を要望する。	ゲートキーパー養成講座の開催を今後検討していきたいと思えます。
3	26ページ 【基本施策1】 2 市民向け講習会・イベントの開催	自殺予防週間における啓発事業として、専門家による講演会を開催、市内各地域の団体へ出席を要請して「気づきと見守り」について啓発することで、市民に「気づきと見守り」の心を浸透させたい。 これにより、「国民の約3人に2人以上が自殺予防週間や自殺対策強化月間を聞いたことがあることを目指す」という国の大綱に沿うことができるのではないか。	自殺対策に関連したうつ病講演会などを開催してきたところですが、周知の方法を工夫し、今後も継続して取り組んでいきたいと思えます。

4	<p>29ページ 【基本施策2】 2 居場所づくり</p>	<p>学校休業日に、各公民館の部屋を一か所開放し、子供たちの居場所づくりとしてはどうか。</p>	<p>公民館では子どもを対象とした体験、教室等の様々な事業を開催しています。また、長期休暇に合わせて、貴重な経験ができるような事業も実施しています。なお、平成30年度の夏休みにおいては地区公民館の空き室を開放し、居場所づくり事業として実施しました。来年度以降も効果的な内容を検討し、実施していきます。</p>
5	<p>31ページ 4 高齢者支援の充実</p>	<p>市の施策として、各公民館でサロンを開催し、運営をボランティアグループに委託し、高齢者の居場所づくりを実施されたい。</p>	<p>各公民館では高齢者を対象にした趣味、教養、運動など様々な教室等を開催し、生きがい、仲間づくりなどの場を設けています。実施にあたっては、地域の方や介護等専門知識のある方によるものもあり、その中で参加者が気軽に相談できるよう今後も心掛けていきます。なお、老人憩いの家での活動や認知症カフェ等も高齢者の居場所づくりとして実施されています。</p>
6	<p>34ページ 【基本施策5】 児童生徒のSOSの出し方に関する教育</p>	<p>児童生徒の出すSOSに周囲の大人たちがいち早く気づき、対応することが大事である。この気づきの感性を高める教員研修を実施してほしい。また、SOSを発信することが発信者にとって不幸な状況を作り出すことのないよう配慮ある教育をお願いしたい。</p>	<p>子供達が発するSOSをしっかりと受け止め、迅速に対応することが学校として求められているところです。そのため、身近にいる大人（教員）がそれを受け止め、支援していくという観点から、教職員の感性を高めていくような研修は必要だと</p>

			考えます。また、SOSの発信がイジメの原因とならないようにも配慮してまいります。
7	38ページ 【重点施策3】 勤務・経営対策	自分の経験から、長時間労働が思考力を奪い、現状から逃れるために自殺を選択してしまうことを実感している。事業経営者にこの怖さを指導し、長時間勤務の継続を絶対に起こさないよう、従業員から自殺者を出さないよう、就業規則の厳守を含めた指導を切望する。	労働環境の整備は重要であると認識しています。市には指導の権限はありませんが、事業所等に対して制度の周知等を引き続き行っていきます。なお、市においても職員の超過勤務の削減に継続して取り組んで参ります。